

市議会だより



長手天満神社の社叢林^{しゃそうりん}

米沢市大字長手にある天満神社の参道に沿って、根周り2m以上のスギの大木が約60本存在しています。このように神社の境内などを覆うように群生する樹林のことを社叢林といい、長手天満神社の社叢林は米沢市を代表する一つに数えられます。中で最も大きいものは、社殿の南側に立つ大スギで、根周り7.7m、幹周り4.0m、高さは30mほどもあり、江戸時代前期に移植されたと思われます。

平成18年12月定例会

	ページ
12月定例会の総括	2
一般質問	3
常任委員会の審査から	9
予算特別委員会の審査から	11
請願の結果・管外行政視察報告	12

米沢市特別職の職員の給与に関する 条例等の一部改正など

12月定例会
5日～19日

19議案 原案どおり可決



平成19年12月定例会は、5日から19日までの15日間の会期で開会しました。

初日の本会議では、まず、1人欠員となっていた議会運営委員の選任をしました。その後、議案18件及び請願1件を各委員会にそれぞれ付託しました。

7日、8日、11日には、15名の議員による一般質問が行われた後、11日の本会議で、追加議案1件が上程され、所管の委員会に付託しました。

12日には総務・民生常任委員会を、また、13日には産業建設・文教常任委員会をそれぞれ開き、議案及び請願について審査を行いました。

14日には、予算特別委員会を開き、補正予算8件について、審査を行いました。

最終日の19日の本会議では、各委員長報告が行われ、議案19件についてはすべて原案のとおり可決し、請願1件については、採択とされました。最後に、議員派遣の件についての報告が了承され、15日間にわたる12月定例会を閉会しました。

一般質問

「市政のここが聞きたい」

12月定例会では15名の議員が質問を行いました。ここでは、1時間の持ち時間から主なものを取り上げております。

詳しくは3月に会議録ができますので、情報公開コーナー（4階）、市立図書館でお気軽にご覧ください。

総合的に判断し、市有林の樹種転換を



我妻 徳雄 議員

広葉樹林は針葉樹林に比べると山の保水力がはるかに大きく、治山・治水など、緑のダムとしての効果が期待できる。また、地球温暖化防止にもつながることから、総合的に判断し、市有林を針葉樹（杉、松）から広葉樹へ樹種転換してはどうか。

〔産業部長〕 積極的な広葉樹林化については、水資源の涵養等の多面的機能の確保のためには効果が期待される取り組みだと考えています。杉等の生育不良が広範囲で、防災上の措置が必要な箇所や、景観や環境保全上の手だてが必要な箇所などについては、状況に応じて広葉樹植栽の検討も必要と考えています。

本市も補助金削減、交付税の圧縮などによって非常に厳しい財政状況下にある。そこで、従来の補助金に頼らず、簡易な公共事業は地域や堰組合に発注する等、大胆な発想で住民参加型の公共事業を進めてはどうか。

上水道未普及地域における施設整備事業の完全実施について



加藤喜正門 議員

平成19年10月の綱木川ダム供用開始を間近にして、水道未普及地域に対し給水を拡大する考えはないか。また、上水道施設整備事業に対し、一般会計からの繰出金を投入する等、財政支援はできないか。

〔市長〕 南原李山、関、小野川入地区等は、集落が散在し上水道事業を整備する上で効率性、採算性の確保が困難と見込まれます。膨大な設備費、管理費を要するために、国などによる公的補助や一般会計からの繰出金等の財政支援も視野に入れ、採算性を考慮した事業運営を図りたいと考えております。

〔市長〕 李山地域は4集落のうち当面、水源の確保が困難な2集落については、米沢市まちづくり総合計画に組み入れ早期の事業推進を図りたいと考えております。

李山地域の上水道施設整備事業への取組みは、

〔市長〕 李山地域は4集落のうち当面、水源の確保が困難な2集落については、米沢市まちづくり総合計画に組み入れ早期の事業推進を図りたいと考えております。

の完全実施について

森林の果たす役割は、国土の保全、水源涵養、保健休養、地球の温暖化防止等の多面的な機能を持っている。県では、森林が荒廃している現状を踏まえ、平成19年度から「仮称」やまがた緑環境税の創設を予定し、荒廃した森林の蘇生に向け公的な整備を図るとしているが、こうした事業にあわせて、長期的な施策として人間と野生獣類の住み分けが実現され、猿や熊が里に入らないようにする事業が重要と考えるがどうか。

〔産業部長〕 やまがた緑環境税の事業の中では県が主体となつて奥山でのナラ、クリ等の植栽を実施することや、猿や熊等の被害の顕著な地区においては人と動物の緩衝帯の整備を行う等、森林・動物共生の森づくりの事業を実施する予定であり、その効果を期待したいと考えております。

家庭・社会・地域の教育力について



山田 登 議員

子どもをめぐる家庭と地域の教育力の低下をどう考え、再生を図るためにはどうするか。

〔教育長〕生活様式の変化や価値観の多様化により、自己中心的な意識が肥大化している状況の中に子どもたちが置かれております。また、地域での人間関係の希薄化や、本来家庭でつけられなければならない基本的な習慣が定着していないことが指摘されています。

教育委員会としては、生涯学習を通じて、いろいろな学習の場面を提供しながら、家庭の再構築、地域社会の再構築を目指し実践していきます。

老人福祉センター「寿山荘」の今後のあり方は。

〔健康福祉部長〕施設の老朽化や利用数の減少から、寿山荘利活用検討委員会を設置し、答申をいただきました。内容は、宿泊を廃止し日帰り施設として存続する。現状どおり宿泊施

設として存続するという両論併記の答申でした。また、健康教室の企画、医師や看護師を配置し、温泉療法的な利用を目指し、ではとの意見もありました。寿山荘のあり方については、施設の現状とコスト面を勘案し、今後検討いたします。

小野川温泉を環境省が指定する国民保養温泉地とする働きかけをすべきだと思うがどうか。

〔市長〕この指定を受けるには、整備課題も多く、市民協働の計画策定や当該地区の方々の意向を十分にお聞きするのが重要ですので、今後の課題と考えています。



老人福祉センター「寿山荘」

市長のマニフェストの達成度評価について



小島 卓二 議員

マニフェストの1年以内の公約として『平和通り商店街の再開発。解決のため市が積極的に関わる。』とあり、4年以内の公約として『新しい図書館の建設を実現します。』『県立女子短期大学の4年制化を実現し、文科系の学術拠点を整備します。』とあるが、実現可能かどうか。

マニフェストを見て市民は良かったと思って投票したが、実行済項目は50%程度である。マニフェストの未実現は、市民に対して背信行為とならないか。

〔市長〕平和通り商店街の再開発事業については、民活事業として経済的に成立する計画案が見出せない等、極めて厳しい局面にあります。今後とも商工会議所及び地元準備組合と協議を重ね進めて行く考えです。

図書館建設は、百年の計に値する大事業と考えております。今後、まちづくり総合計画の第2期実施計画に組み入れて事業を推進すべく、現在、教育委員

会内部で検討を行っており、平成19年度には、外部委員会を設置して詰めていくことにしています。

米沢女子短期大学の4年制化は『当面短期大学での運営』との県知事答弁があり、早期実現は難しいところですが、引き続き県へ要望してまいります。

マニフェストの達成度評価については、市民の方、有権者の方々の判断であり役割と考えています。

教育委員会は「志事^{しじ}」をしているのか。県立高島高校の女子生徒の自殺や、女性講師の飲酒運転事故の発生を受けて、教育委員会は委員会を開催し、対応について協議を行ったか。

〔教育長〕教育委員会の会議はなかなか出来ないでしたが、臨時校長会を開催し、周知徹底をいたしました。随時必要な会議をもって中身の濃い協議を行い、課題・問題に添えていきたいと考えております。

議会カレンダー

▼10月▲

2日	4日	議会運営委員会管外行政視察（伊賀市・豊明市・三鷹市）
5日		藤枝市から視察
6日		各派代表者会
10日	10日	置賜二市二町議会議員親善交流会（高島町）
10日	13日	各派代表者会
11日		産業建設常任委員会管外行政視察（境港市、鳥取市、豊岡市）
11日		議会だより編集委員会
16日		橋本市・川口市から視察
17日		清瀬市から視察
17日		議会だより編集委員会
17日		豊明市から視察
17日	18日	事務局長会議（会津若松市）
18日		加西市・柏市から視察
19日		福島市米沢市相馬市議会連絡協議会全体会議
20日		各派代表者会
24日		議会運営委員会
24日		伊奈町から視察
25日		向日市・厚木市から視察
26日		総務常任委員会
27日		文教常任委員会
27日		民生常任委員会
		産業建設常任委員会
		足利市から視察

議員定数削減に対する市長見解は



吉田 芳一 議員

先の定例会での議員定数削減は賛否ある中、行財政改革優先で議決された。この件について、市長の市政執行に対する責任は、より重みが増したと思うが見解はどうか。

〔市長〕 市議会の定数削減につきましては、プラス・マイナス両面あると考えています。また、市長として、なお一層の行財政改革に努めていきたいと考えています。

市長の高級専用車を廃止したことにより、経費削減はどの程度図られたか。

〔企画調整部長〕 市長の専用車は、高級車から小型車に代え、また、タクシー利用などと併せて平成16年度は115万円、平成17年度は140万円の経費節減になりました。

現在、80台以上の公用車は各課で分散管理されている。この中から私が調べた14台について

は、11月分で延べ30日間が眠っており、動いたとしても平均半日である。100%稼働すれば20台で間に合う計算である。集中管理すれば、相当の車を減らすことができる。早急を実施すべきと思うがどうか。

〔総務部長〕 公用車の分散、集中管理、それぞれにメリットがあります。総合的に勘案し、平成19年度にできるものから取り組んでいきたいと思っています。

窓口延長業務の費用対効果はどうか。

〔市民環境部長〕 今年6月からは、週2回、18時30分まで証明発行に限定した窓口延長を実施しています。職員の時差出勤で対応したことから、これに要した経費は2万1804円と少額でしたが、担当者1人・90分当りの交付件数を比較すると、延長時間における交付件数が、時間内における交付件数の約5分の1となっております。

教育委員会が「中学校給食は必要」との結論を出した場合の対応は



高橋 壽 議員

「中学校給食を実施すべきかどうか」については、現在教育委員会内に設置された中学校給食検討委員会で議論され、平成19年度には、結論が出ることになっている。

仮に教育委員会が「中学校給食は実施すべき」との意見を市長に提出した場合、速やかに中学校給食を実施できるよう予算編成し、議会に提案すべきだかどうか。

〔市長〕 中学校給食ですが、教育委員会から実施という結論が出た場合には、速やかに予算編成に取り掛かりたいと考えています。

障害者自立支援法が施行され、障がい者のサービス利用料が1割負担になる等、個人負担額が増加し全国的に大変な問題になっている。

本市でも障がい者と家族の大きな負担になっている。また、障害者施設も補助金が

削減されて、経営が困難になっている。

平成18年9月議会で、市当局は、「市独自の軽減策を研究したい」と答弁しているが、その後のどのような対応策を検討しているのか。

〔健康福祉部長〕 本市でも障がい者の負担が増えたことに伴い、利用するサービスの種類を変更したり、利用を差し控えるという方も出てきています。

このようことから、最も負担増となっている施設通所利用者を対象に、激変緩和の意味で、平成19年4月から2年間の経過措置として軽減策を検討しているところだ。



30日 各派代表者会
31日 市政協議会

11月

1日 中野区から視察
7日 山形県市議会議長会主催
議会報研修会
村上市から視察

13日 山形県市議会議長会定期
総会（尾花沢市）

14日 寝屋川市から視察

17日 酒田市から視察

21日 各派代表者会

議会運営委員会

三木市から視察

23日 府中市・豊橋市から視察

24日 民生常任委員会

27日 文教常任委員会

28日 市政協議会

29日 横浜市から視察

30日 議会運営委員会

12月

5日 本会議（招集日）

7日 本会議（一般質問）

8日 本会議（一般質問）

11日 本会議（一般質問）

12日 総務常任委員会

13日 民生常任委員会

14日 産業建設常任委員会

15日 文教常任委員会

14日 予算特別委員会

15日 議会図書室運営委員会

19日 議会だより編集委員会
本会議（最終日）

生活文化館、仮称「暮らしの館」の

設置について



遠藤 宏三 議員

米沢の暮らしが理解できる施設として古代から現代までの埋蔵文化財や民俗資料を活用した生活文化館、仮称「暮らしの館」を設置できないか。子ども達の郷土理解や体験学習の場として、また、観光客が米沢を理解する場として、伝国の杜周辺か、第六中学校跡地に施設を整備できないか。

〔教育長〕 本市には、行屋や草木供養塔に見られるような地域独特の民俗資料が豊富にあり、仮称「暮らしの館」が実現すれば、今と昔の暮らしを学習する施設になり有意義ですが、地域文化の広がり等を考慮し、広域的な視野から、その実現可能性について検討してまいります。

本市で行った埋蔵文化財調査事業の実施年数と事業費は。

〔教育管理部長〕 昭和62年以降、毎年継続して実施しており、要した事業費は、総額で2億3300万円余りで、その間、一

の坂遺跡、古志田東遺跡の2件の国指定遺跡、館山城、戸塚山、成島古墳群、台の上遺跡等の重要遺跡の調査に当たっています。

伊達氏を縁として百万都市仙台市と都市間交流を図れないか。

〔市長〕 観光客からも伊達氏関連の足跡、情報が欲しいとの要望もあり、伊達政宗が米沢生まれであること、支倉常長の遣欧使節派遣等は顕彰すべきと考えており、仙台市との交流は深めていきたいと考えています。

県内での中学校給食実施状況と、置賜各市町の取り組みは。

〔教育指導部長〕 県内の中学校で実施しているのは、山形市、酒田市、上山市、鶴岡市など32市町村です。置賜地域では、長井市、白鷹町、飯豊町が全中学校で実施、南陽市、川西町で1中学校と、全36校中8校が実施となっています。

何をもって、どんなまちを創るのか



木村 政信 議員

今、多くの自治体が改めてまちづくりに取り組んでいる。それも無いものねだりではなく、その地域の歴史や風土に根差して、地域の再構築や人間としてのありようを主体にまちづくりを行っている。この米沢は何をもってどんなまちを創るのか。

米沢には、歴史と伝統に導かれて、他とは違う発想の素晴らしい米沢市市民憲章がある。その具現化をすることで、日本の市民に守られた、歴史と自然を感じる雪国の城下町米沢が見えてくるのではないか。

〔市長〕 百花繚乱のたくさんの花が咲き誇ることで米沢の色々なよいものが輝きを放ち、市民一人一人が自分らしく花開くまちを目指していきたいと思っています。

社会事象が物語る、拝金主義の市場経済。それゆえに公共倫理を失っていく企業・産業、教育界までもがそうになってしまう

現実。抑止力を失った社会にある、いじめ、虐待、自殺。これらを真摯に受け止め、行政は何をすべきなのか。学校教育はどうあるべきか。

〔市長〕 モラルの低下が根本原因だと思っていますので、ぼくは市（ ）の再現をしてみたい。それとあいさつ運動というものもしてみたいと考えています。

〔教育長〕 現在、命の教育に取り組んでおりますが、この理念を各小中学校が立地する地域や子どもたちの実態に合わせて、各学校が教育目標に組込んで具現化しようと努力しています。今だからこそ積極的に進めていかなければなりません。

県内でも教職員の不祥事が相次ぎ、教育や学校に対する批判がありますが、そういうものにとさらされながらも、本市の先生方は子どもたちの教育に日々努力していると確信しています。

無人販売の市

12月定例会で 次のことが 決まりました。

- 米沢市議会の議員その他非常勤の職員が公務災害補償等に関する条例及び米沢市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
- 米沢市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の設定について
- 米沢市手数料条例の一部改正について
- 山形県後期高齢者医療広域連合の設立について
- 米沢駅前北駐車場等の指定管理者の指定について
- 米沢市営駅前自転車駐車場及び米沢市営駅東自転車駐車場の指定管理者の指定について
- 米沢市上杉記念館の指定管理者の指定について
- 置賜広域観光案内センターの指定管理者の指定について
- 米沢市児童会館の指定管理者の指定について
- 米沢市座の文化伝承館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 平成18年度米沢市一般会計補正予算（第3号）
- 平成18年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算

予算特別委員会

12月14日に開かれた予算特別委員会では、一般会計補正予算をはじめ8議案を審査しました。

その中から質疑の主なものをお知らせします。

〔委員〕 他市町村では乳幼児医療を無料化しているところがあるというが、本市ではどうか。

〔健康福祉部長〕 乳幼児医療制度は三歳未満については、所得制限があり、一部が無料化になっております。本市が所得制限を取り払い、無料化した場合は相当の財政負担が発生いたしますので今後の研究課題にさせていただきます。

AED 器械の設置状況は

〔委員〕 AED 集落設置推進事業の目的と現在の本市内での設置状況及び器械操作の研修の状況について伺いたい。



すこやかセンターに設置されている AED 器械

〔健康課長〕 県の補助事業であり、救急患者の救命率の向上を図るため、おおむね救急車の到着が十分以上かかる地域の自治会などの団体が行う AED 器械

設置に対して、その経費の一部を助成するものです。現在、本市内には中学校全校、すこやかセンター、市営体育館及び多目的屋内運動場等に設置しております。

また、研修については県保健所及び本市消防本部により実施されております。

〔委員〕 平成19年度から導入される品目横断的な経営安定対策では米の生産数量の配分を農業者団体がすることになるが、適正な米の調整になるよう、来年の分について市長名で配分することはできないか伺いたい。

〔産業部長〕 基本は市長ではなく農業者団体が最終調整していただきたいと思います。これからも引き続き指導を行っていかねければならない課題と認識しております。

〔委員〕 平成19年4月から導入される仮称やまがた緑環境税の課税額についてお聞きしたい。

〔税務課長〕 緑環境税につきましては、個人は個人県民税均等割の額に千円を加算、法人は資

本金の金額により異なっており、法人県民税均等割の額に2千円から8万円までの五段階に分けて加算されることになります。

〔委員〕 米沢駅関連の指定管理者の指定については、管理費の割高感があることから公募による方法でできないかという要望をしていたが、また2年間非公募での提案となっている。この議案に対する考え方を伺います。

〔市長〕 置賜広域観光案内センター（アスク）の業務については、知識、技術の蓄積が必要だと思っております。また、米沢駅前自転車駐車場、米沢駅前北駐車場等業務についても一部の業務をアスクの職員にお願いしておりますので、現段階では本定例会で提案している方針でお願いしたいと思っております。

〔委員〕 市道米沢駅南北線道路改良事業もいよいよ終了し、本年度末に供用開始と聞いているが、現在までの事業費及び事業効果についてお聞きしたい。

〔都市計画課長〕 事業費については平成18年度末で約21億9千万円を予定しております。事業効果としては

米沢駅の西側と東側を結ぶことになることから、東側の八幡原工業団地、オフィスアルカディア及び国道13号からの市内へのアクセスを図る上で最も重要な路線となり、交通の円滑化が図れるものと思っております。

〔委員〕 既存の幅員の広い道路を利用して通学路の歩道確保ができないか伺いたい。

〔土木課長〕 歩道を設けるには、まず車道を確保する必要があります。現在の道路の中で一定の車道の幅員を取ったうえで歩道を確保するというようになりますので、現状では厳しいものと考えております。



供用間近の市道米沢駅南北線

12月定例会で審議した請願の結果は次のとおりです。

採 択

市議会3月定例会 日程(予定)のお知らせ

- 3月1日 開会(本会議)
5日 代表質問
6日 代表質問
7日 常任委員会
8日 常任委員会
9日 予算特別委員会
12日 予算特別委員会
13日 予算特別委員会
14日 予算特別委員会
15日 予算特別委員会
19日 予算特別委員会
23日 最終日(本会議)

なお、請願の提出期限は2月22日(木)午後5時の予定です。日程は変更されることがありますので、ご了承ください。

米沢市木材製品利用住宅建築奨励助成金制度の創設について

(米沢市春日四丁目2-100)

米沢市建築組合連合会 理事長 佐藤 四男外4名)

産業建設常任委員会管外行政視察報告

産業建設常任委員会では、10月11日から14日までの4日間、鳥取県境港市、鳥取市、兵庫県豊岡市を視察してまいりました。

境港市では、子どもから大人までおなじみの「ゲゲゲの鬼太郎」でまちおこしをしたユニークな事例を視察してまいりました。妖怪のオブジェが展示してある「水木しげるロード」と妖怪を紹介している「水木しげる博物館」の両施設を視察してまいりました。

両施設には観光施設で一般的にテーマとされる歴史的・文化的な教養や、科学的な知識あるいは郷土の偉人の功績を称えるといったものを感じ取ることは難しいですが、実際に歩道を歩き、オブジェを見て・それに触れて、商店街のにぎわいを感じ、買い物をする事で得られる「楽しさ」は「観光」の重要な要素であることを改めて感じてきました。観光行政と中心商店街活性化事業が両立して成功した好事例ではないでしょうか。

鳥取市では、小売・サービス業などの店舗と、市民活動などに利用できる市民交流ホールが併設された交流の拠点施設「パレットとっとり」を視察してまいりました。

豊岡市では、地元農家を取り組んでいる有機農業「コウノトリ育む農法」について視察してまいりました。この農法は、コウノトリの餌となるカエルやフナ、ドジョウなどの生き物が豊富にすむ田んぼとするため、堆肥による土づくりを基本に、減農薬・無農薬栽培による米作りです。

食の安心・安全がクローズアップされる現在、これからの農業のあり方について考える良い事例でした。



「パレットとっとり」

私たち6名の議員、及び議長、副議長が市議会事務局職員の手助けをいただいて作成してきた「議会だより」も今回を含めて残り2回となりました。

表紙については、米沢市の巨木シリーズとし、市民の方々が読みやすく、議会の活動が分かりやすくを目標にしてみました。

今回は先輩各位からの継承により創刊以来100号を迎えます。

私たち議会だより編集委員は大変ラッキーなことと感じています。

市民の方々には今後ともよろしくお願い申し上げ、編集後記といたします。

(H・S)



あとがき